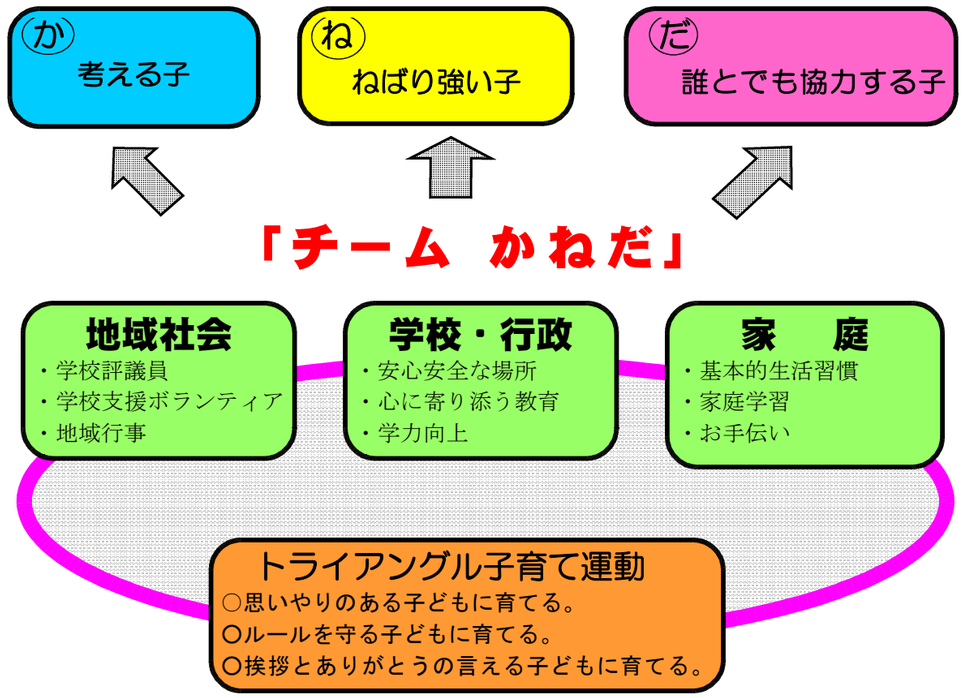
令和７年度　　木更津市立金田小学校

１．学校の教育目標

‘ふるさと木更津・金田’を愛し
予測不可能な時代を生き抜く金田っ子の育成
～人生100年時代の基礎作り～



２．経営の方針

「家庭・地域と共に児童を育む，魅力ある学校」をめざして

◎学校と家庭・地域が協力して，
　ふるさとに誇りを持ち、夢や希望の実現に向け努力する力を育む

★心に寄り添う教育を基盤におき，「チームかねだ」として，子どもたちが笑顔で生き生きと学校生活が送れるようにする。
★家庭、幼保･小･中，地域社会との連携を生かして，教育活動の充実を図る。

３．経営の重点　自分で考えてできる（自立）　たすけあい（共生）

（１）「金田っ子」を育む　教育活動

①＜か＞「考える子」

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて，主体的かつ協働的に取り組ませる。
　・個に応じた、きめ細かな指導と評価
○授業規律を意識して取り組ませ，自主的な学習習慣を身につける。
　・読むこと，書くこと，計算することの定着

②＜ね＞「粘り強い子」

○自己肯定感を高く持ち、何事にも前向きに捉える気持ちを持つ。
○外遊びを奨励し，自ら体力向上に取り組ませる。

③＜だ＞「誰とでも協力する子」

○一人一人の理解に努め，「認めて・誉めて・指導支援」で生き生きと生活させる。
○「たすけあい」を意識し，仲間を認め合い，高め合う豊かな人間関係をつくる。

（２）「金田っ子」を育む　教師集団

①「人間力・指導力のある教師」

○研究と修養に励み，「指導力」とともに「人間性」「プロ意識」の向上に努める。
○生徒指導の機能を生かし，人と人とのつながりを生かした授業づくりに努める。
○教職員同士が協力し合う体制作りを行う。（全学年での交換授業の実施）

②「働き方改革を意識して取り組む教師」

○余剰時間やデジタル化を活用して効率的に業務を進める。
○支え合い学び合いを土台に，報・連・相及び記録の徹底に努め，組織力アップ及びモラールアップをめざす。

（３）「金田っ子」を育む　信頼される学校

①「安全で安心な学校」

○校内支援体制を整えて，一人一人の心に寄り添う支援教育を推進する。
○交通安全教育と防災教育を通して安全意識を高める。
○感染予防対策やアレルギー対応を徹底し、健康面の安全を図る。

②「地域とともに歩む学校」

○学校支援ボランティア等の積極的な活用を図るなど、地域の教育力を活かして，「ふるさと」を意識した活動を行う。
○各種たより等とホームページの活用による情報公開を進める。
○地域・幼小中・ＰＴＡとの連携を強化して，なめらかな接続を行う。